

中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）工事における環境保全（更新）（提出日：R5.4.14）に対する山梨県からの要請と事業者の対応方針

No	山梨県からの要請（要請日：R6.3.29）	事業者の対応方針
1	<p>更新履歴の作成等 保全計画書は、事業実施前に環境影響評価を行うことが環境の保全上極めて重要であることから作成・公表されるものである。 よって、いつ・どのような変更が行われたかわからないような内容更新や、事業実施前に予測・計画した内容を事業の進捗にあわせて実績へ変更するといった、当初の予測・計画内容がわからなくなるような更新は行うべきではない。従って、今後も含め、保全計画書の更新に当たっては以下のとおり対応すること。 ①更新前の保全計画書は、継続して事業者ホームページへ掲載を続けること。 ②更新後の保全計画書には、更新履歴（更新ページ、そのページ内の更新箇所、更新前後と更新理由がわかる表）を作成・添付すること。 ③保全措置を見直した場合は、経緯、見直し後の保全措置の内容、見直し後の保全措置の実施（開始）年月日を記載すること。</p>	<p>①環境保全の計画（当初版）作成・公表後に、工事計画等について変更が生じた場合、環境保全の計画を更新する場合があります。更新が多数に亘っているものもあり、全ての計画をホームページに掲載すると煩雑になることから、最新のもののみを掲載しているところです。 更新前の環境保全の計画（旧版）は中央新幹線環境保全事務所（山梨）で保管しており、住民の方からご要請があった場合は、環境保全事務所で閲覧いただくご案内をさせていただきます。</p> <p>②経年の更新内容を分かりやすくお示しするために、今後更新する環境保全の計画には「第1章 本書の概要」に当初公表版の年月日を記載の上、以降の更新時に変更履歴を追記することとします。 （記載例） 当初公表版（令和〇年〇月〇日公表）から、これまでに以下の変更を行っている。 令和〇年〇月〇日更新：●●の一部を更新</p> <p>③環境保全措置を見直した場合は、見直した経緯、及び見直し後の内容等について、計画を保全計画書に、実績を各年度年次報告書及び中間報告にて記載します。</p>
2	<p>実施できない環境保全措置に対する追加保全措置の検討及び実績の報告 環境保全措置のうち「低炭素型建設機械の採用」について、十分な台数の低炭素型建設機械の採用ができない場合の代替措置は、その期待される効果を予測のうえ、適切な代替措置となっているか検証し、必要により追加の保全措置を検討すること。 なお、次回の中間報告書には、低炭素型建設機械の採用実績及び代替措置の実績並びに効果の定量的な評価結果を記載することとし、必要により追加の保全措置及びその検討内容も記載すること。</p>	<p>本件ご指摘については継続的に頂いているところではありますが、引き続き山梨県を含め全国的に低炭素型建設機械の流通台数は極めて少ない状況であり、採用が大変難しい状況であります。そのため、代替として国土交通省の建設機械の燃費基準を参考に、認定された建設機械やその基準に近い燃費性能を持つ建設機械を評価書時に計画した採用率以上使用することで、温室効果ガスを同程度低減する計画としています。今後、低炭素型建設機械の流通台数が増えれば、積極的に採用することで、更なるCO2排出量の低減を目指していくことで計画していますので、環境保全措置としては引き続き採用していきます。 なお建設機械稼働におけるCO2排出量の低減対策のうち、①低燃費型建設機械②低炭素型建設機械について、以下【評価書】と【現状】との比較をお示します。</p> <p>【評価書】 採用する建設機械：バックホウ、ホイールローダー、ブルドーザ ・①については、採用率を使用台数の50%とし、建設機械のCO2排出量は従来型の約10%減 ・②については、採用率を使用台数の10%とし、建設機械のCO2排出量は従来型の約20%減</p> <p>【現状】 採用する建設機械：バックホウ、ホイールローダー、ブルドーザ ・②の採用率を0%とした際、同等のCO2排出量を削減するには、①の採用率を70%以上とする必要があります。 ・南アルプストンネル新設（山梨工区）の建設機械については、国土交通省の定める燃費基準を参考に、認定された建設機械（①）を優先的に採用しており、①の採用率は70%を超過しています。</p> <p>次回の中間報告書には、工事箇所毎に中間報告書対象期間（令和3年度～令和5年度）の低炭素型建設機械及び低燃費型建設機械の採用率について記載し、必要に応じて追加の保全措置及び検討内容について記載します。 （南アルプストンネル新設（山梨工区）の各建設機械の採用率） 低燃費型建設機械の採用率：約76% 低炭素型建設機械の採用率：0%</p>